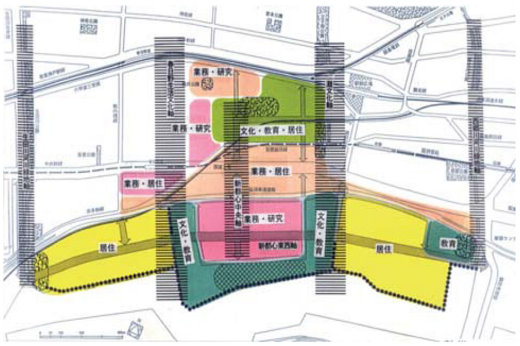

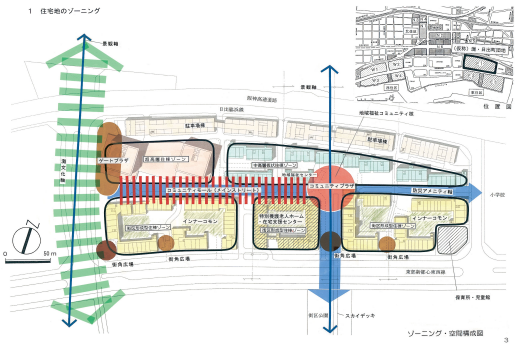

神戸市東部新都心住宅地計画・ＨＡＴ神戸

このプロジェクトは、1991年3月に神戸市の「都心整備構想」において、都心に近い中央区・灘区の臨海部一帯の工場跡地等を活用し、東部新都心（約120ha）として位置付けられたものである。その後、阪神・淡路大震災が発生し、「神戸市復興計画」において、緊急かつ重点的にまちづくりが必要な「重点復興地域」に位置づけられた。
当社は東部新都心計画において、住宅地の全体マスタープラ

所在地	兵庫県神戸市
発注者	神戸市、住宅・都市整備公団、兵庫県
構造・規模	県営住宅1890戸

ンの策定を担当した。また、公民の多様な住宅建設主体が強調しながら、質の高い都市空間形成を実現するための基本的な指針として、居住ゾーンにおける「街並み形成ガイドライン」の策定に関わった。さらに、第１期住宅建設地区である、灘・日出町団地（ＨＡＴ神戸灘の浜）の全体配置設計を担当した。

ＨＡＴ神戸灘の浜では、震災復興事業のリーディングプロジェクトとして、「早く、安く、大量に」の要請の中、公営住宅等の高密度供給を行った。計画にあたり、高度な都市的利便性やまちの賑わいを形成するとともに、ヒューマンスケールのコミュニティ空間の創出に主眼をおいた。「住棟で街・通りをつくる」という基本コンセプトのもと、亜高層中心の中庭型配置を基本にした。メインストリートとして導入したコミュニティモール沿いには、商業施設や福祉施設を複合させ、中層棟も採用して、圧迫感を避け、親しみのある賑わい空間を創出した。短期間・大量供給の事業のなかでも、多様性に富んだ住宅地を創出するために、設計にあたっては、当社が担当した全体基本設計、ガイドラインのもと、できるだけ小区画ごとに異なる建築家（当社も含む13グループ）が起用され、空間・デザインの応答関係を調整しながら設計する方法が採用された。

計画年度	1995-98

©ICHIURA HOUSING & PLANNING